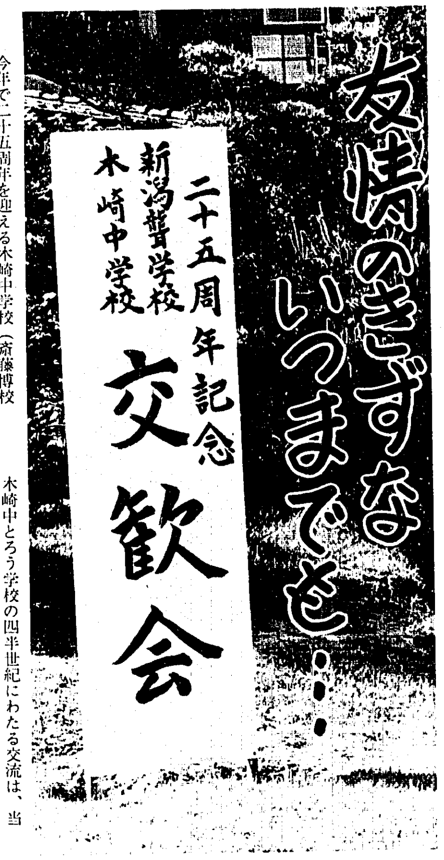


友情のきずな いつまでも…

二十五周年記念 新潟聾学校 木崎中学校 交歓会

今年で二十五周年を迎える木崎中学校（斎藤博校長）と新潟市の県立ろう学校（池上敏夫校長）との交歓会が、五月二十九日盛大に行われました。

これは毎年春と秋の二回行われ、今回は会場が木崎中の番で、ろう学校から中学部、高等部合わせて六十一人の男女生徒全員が参加しました。授業参観も今年初めて行われ真剣なまなざしで授業に聞き入っていました。午後からは体育館での歓迎式のあと、野球、バレーボール、卓球の交歓試合が行われ、それぞれ熱戦を展開しました。

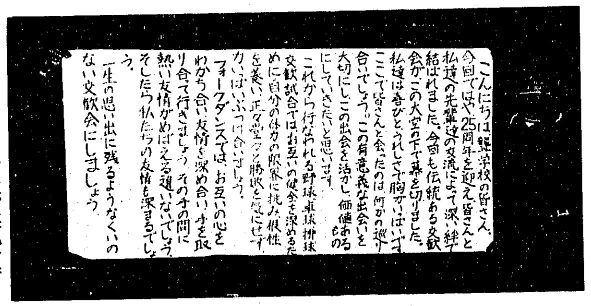
木崎中とろう学校の四半世紀にわたる交流は、当時木崎中におられた広川明夫先生（現新潟市立養護学校長）が、ろう学校に転任された時に、お互いの友情交歓をしようということで始まったものです。

なごやかなフォークダンスで交歓会を締めくくり、全員で秋の再会を誓い合っていました。

▶木崎中生徒代表から、ろう学校生徒代表に花束贈呈

▼初めての授業見学で、少し緊張気味の生徒たち

各種目で熱戦



こんにちは、聾学校の皆さん。
今回ではや25周年を迎え、皆さんと
私達の先輩達の交流によって深い絆で
結ばれました。今回も伝統ある交歓
会が、この大空の下で幕を切りました。
私達は喜びとうれしさで胸がいっぱいです。
ここで皆さんと会ったのは何かの巡り
合いでしょう。この有意義な出会いを
大切にし、この出会を活かし、価値あるものにしていきたいと思います。
これから行なわれる野球、卓球、排球
交歓試合ではお互いの健全を深めるために自分の体力の限界に挑み、根性
を養い、正々堂々と勝敗を気にせず
力いっぱいぶつかり合いましょう。
フォークダンスでは、お互いの心を
わかち合い、友情を深め合い、手を取
り合って行きましょう。その手の間に
熱い友情がめばえる違いないでしょう。
そしたら私たちの友情も深まるでしょう。
一生の思い出に残るようなくいのない交歓会にしましょう

▶両校のあいさつは紙に書いて行われました。

▶和やかなうちにも熱戦が繰り広げられた卓球

▶野球の試合は、互角の勝負で両校とも必死でした

▶バレーボールの試合では、チームワークの良さが目立ちました